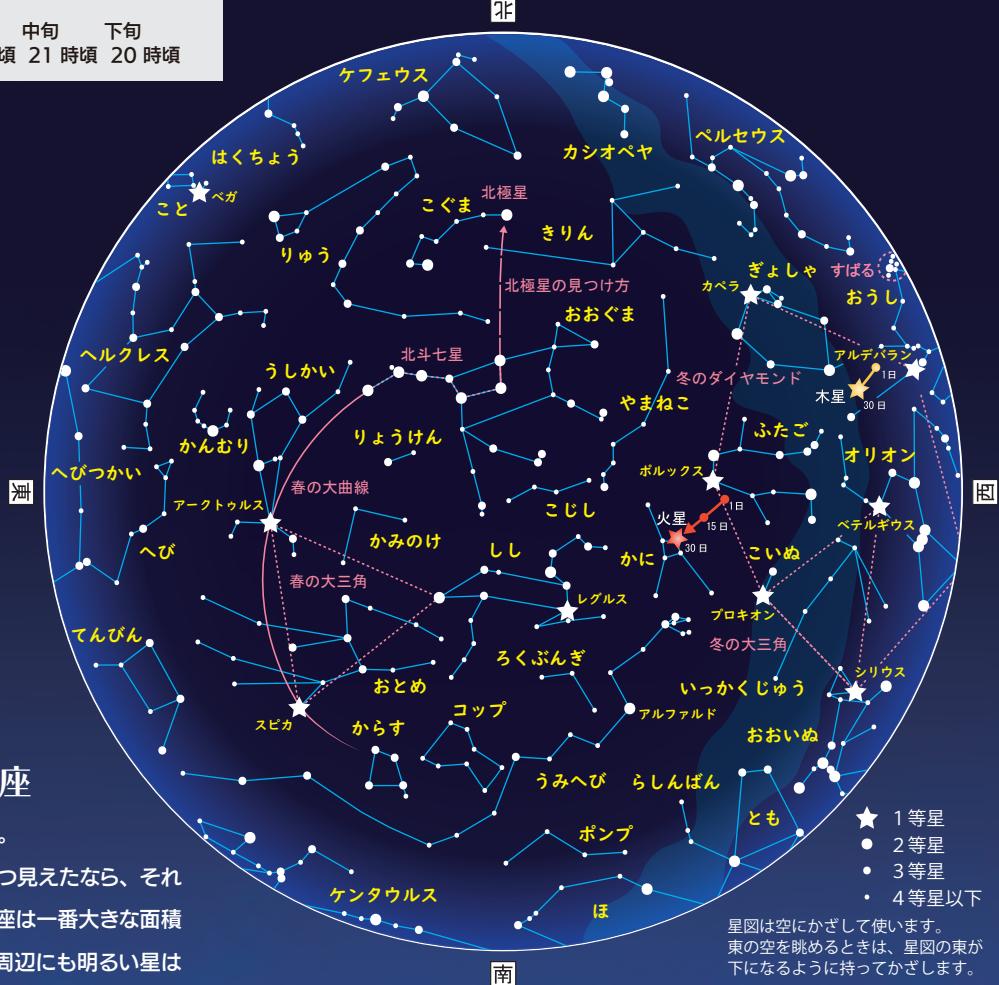


4 今月の星空

上旬 中旬 下旬
22時頃 21時頃 20時頃

天文現象など

- 4/3 月と木星が並ぶ
- 4/5 上弦 ☽
月と火星が並ぶ
- 4/8 月とレグルスが並ぶ
- 4/12,13 月とスピカが並ぶ
- 4/13 満月 ☽ (2025年最小の満月)
- 4/16 月とアンタレスが並ぶ (23時～明け方)
- 4/21 下弦 ☽
水星が西方最大離角
- 4/22 金星と土星が並ぶ (明け方、東の低空)
- 4/25 月と金星が並ぶ (明け方、東の低空)
- 4/27 金星が最大光度 (-4.8等)
- 4/28 新月 ☽
- 4/30 月と木星が並ぶ



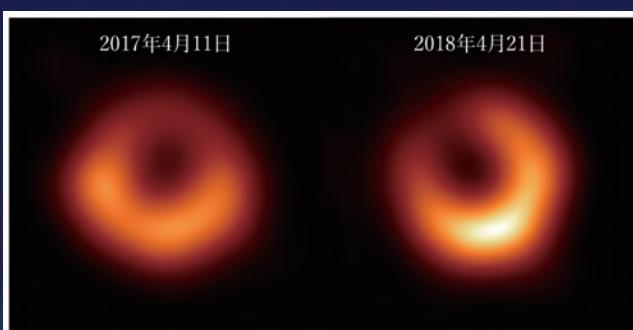
星空ワンポイント▶うみへび座

いよいよ夜空でも春の星たちが主役になってきました。形のたどりやすいしし座よりも低いところ、星がひとつ見えたなら、それはおそらくうみへび座のアルファルドです。うみへび座は一番大きな面積を持つ星座として知られていますが、その領域の中にも周辺にも明るい星は見られません。アルファルドの「孤独なもの」という意味も納得ですね。

今月の一枚 ブラックホールシャドウ

6年前の2019年4月10日、ブラックホールの画像が世界に初公開され、ブラックホールの存在を可視化した初めての証拠として話題になりました。観測自体は2017年春に行われていましたが、慎重に議論が重ねられ、2年の時を経て公開された画像でした。さらに、昨年には2018年に行われた観測による画像も公開されました。最初の画像（2017年観測）と比べて明るいリングの大きさがほとんど変わらないことや、中心部分に同じく黒い影が見られたことなどから、理論で予測されたブラックホールシャドウの存在がより確かなものになりました。今後の新たな情報にも注目です。

参考：EHT-Japan



M87 ブラックホールの姿 (画像の年月日は観測が行われた日付)
クレジット：EHT Collaboration



全編生解説プラネタリウム 浮世絵ぷらねたりうむ

一江戸のお空に光る星—
江戸時代に大衆文化として広まった浮世絵。
色彩豊かに描かれた富士山や日本の名所・
人々の営みが魅力的ですが、今回はその背景に描かれる天象に注目します。江戸の人々は星や空をどのように描いたのでしょうか。
ドームスクリーンに広がる、江戸の浮世絵の世界に飛びこみましょう!!

投影期間 4月19日(土)～6月29日(日)
対象 どなたでも (小学2年生以下は保護者と観覧)

出典: ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)

*一部加工

2025.4 …休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 ● 観望会
6	7	8	9	10	11	12 ● 特別上映会
13 ● 特別上映会	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23 ● おもいやり	24	25 ● 0歳ブラン	26
27	28	29	30 ● 大人向け			

各日のイベント・投影の内容や参加方法については
当館webサイトまたはロクトニュースにてご確認ください



多摩六都科学館
Tamarokuto Science Center



イベントカレンダー